

「地域日本語教育の基本的な方針の策定に向けた実態調査」

アンケート（地域の日本語教室）

1. 日本語教育の教室の運営についてお伺いします

Q1 教室名を教えてください。

()

Q2 活動の場所、曜日、時間について教えてください。

場所 ()

曜日 月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日

時間 _____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分

Q3 教室の運営団体の名称について教えてください。

()

Q4 教室の活動開始時期について教えてください。

西暦 () 年 () 月 (頃) ~

Q5 教室の学習内容について教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 日常会話 | 2. 読み・書き（かな・漢字） |
| 3. 読み・書き（文章・作文） | 4. 文法 |
| 5. 日本語能力試験対策（N1・N2・N3・N4・N5） | 6. 生活に必要な日本語 |
| 7. 仕事や就職に必要な日本語 | 8. 日本の文化、習慣、社会のルール |
| 9. ゲーム（かるた等）などを使った学習 | 10. その他 () |

Q6 レベル別学習を行っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 行っている | 2. 行っていないが今後行う予定がある |
| 3. 行っていないが今後行う予定もない | |

Q7 どのような学習形態をとられていますか。(〇はいくつでも)

1. マンツーマン (対面)
2. マンツーマン (オンライン)
3. 少人数のグループレッスン (対面)
4. 少人数のグループレッスン (オンライン)
5. 講義形式 (対面)
6. 講義形式 (オンライン)
7. その他 ()

Q8 教室ではどのような教材を使用していますか。使用している教材について教えてください。(〇はいくつでも)

1. 教室が用意した共通の教材を使用している
2. 学習者が持参した教材を使用している
3. 担当者が学習者に合わせて用意した教材を使用している
4. その他 ()

Q9-1 ICTを活用したリモート学習の状況について教えてください。(〇は1つだけ)
※ICTを活用したリモート学習とは、パソコン・タブレット・スマートフォン等を活用した遠隔学習のことです。

1. 活用している
2. 活用する予定がある () 頃から)
3. 活用したいができない
4. 活用の予定はない
5. その他 ()

Q9-2 ICTを活用したリモート学習で課題に感じていることがあれば教えてください。活用していない場合は、活用にあたって課題だと感じていることを教えてください。

Q10-1 ICT教材の活用状況について教えてください。(○は1つだけ)

※(例)「つながるひろがる にほんごでのくらし (つなひろ)」

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 活用している | 2. 活用する予定がある () 頃から) |
| 3. 活用したいができない | 4. 活用の予定はない |
| 5. その他 () | |

Q10-2 ICT教材の活用で課題に感じていることがあれば教えてください。

活用していない場合は、活用に当たって課題だと感じていることを教えてください。

--

Q11 ICTの活用で課題に感じていることがあれば教えてください。活用していない場合は、活用に当たって課題だと感じていることを教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. リモート学習 | 2. ICT教材の活用 |
| 3. 教室のインターネット環境 | 4. 学習者のインターネット環境 |
| 5. 教室で使用する端末
(パソコンやタブレット) | 6. 学習者が使用する端末
(パソコンやタブレット) |
| 7. 教室担当者の知識・スキル | 8. 学習者の知識・スキル |
| 9. 学習内容がオンライン学習に向かない | 10. 学習形態がオンライン学習に向かない |
| 11. 学習内容に合ったICT教材がない | 12. 学習形態に合ったICT教材がない |
| 13. 課題に感じていることはない | |
| 14. その他 () | |

Q12 「川崎市〈やさしい日本語〉ガイドライン」の活用状況について教えてください。

(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 知っていて、活用もしている | 2. 知っているが、活用はしていない |
| 3. 知らないが、活用したい | 4. 知らないし、活用の予定はない |
| 5. その他 () | |

Q13 教室の運営費について教えてください。(〇はいくつでも)

1. 学習者が負担 (教材費・保険料)	2. 学習者が負担 (授業料など)
3. 事業実施委託料	4. 補助・助成金
5. 寄附金	6. その他 ()

Q14 外部機関等との連携・協力の状況について教えてください。()内には連携・協力内容を記載ください。(〇はいくつでも)

外部機関名	連携・協力の有無	連携・協力内容
1. 他の教室	○ ・ ×	()
2. 川崎市国際交流協会	○ ・ ×	()
3. 日本語学校	○ ・ ×	()
4. 小・中学校、高校、大学	○ ・ ×	()
5. 企業・経済団体	○ ・ ×	()
6. その他	○ ・ ×	()

Q15 教室運営で困っていることがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

1. ボランティアが不足している	2. ボランティアが余っている
3. ボランティアのスキルアップ	4. 学習者が長続きしない
5. 学習者が増えない	6. 学習者が減っている
7. 学習者のレベルの差が大きく対応が難しい	8. 日本語がほとんど話せない学習者への対応が難しい
9. 学習者のニーズと教室の学習内容が合わない	10. 運営費が不足している
11. 教材の確保	12. ボランティアの効果的な募集方法がわからない
13. 学習者が増加し全ての希望者に対応できない	14. 学習者のウェイティングが増えている
15. 運営事務の人手が足りない	16. 特に困っていない
17. その他 ()	

2. 学習者についてお伺いします

Q16 学習者の性別ごとの人数について教えてください。

男性 () 人 女性 () 人 その他 () 人

Q17 学習者の年齢別の人数について教えてください。

年齢	人数	年齢	人数
～9才	() 人	10才～19才	() 人
20才～29才	() 人	30才～39才	() 人
40才～49才	() 人	50才～59才	() 人
60才～69才	() 人	70才～79才	() 人
80才～	() 人	分からない	() 人

Q18 学習者の居住地別の人数について教えてください。

1. 教室の場所と同じ区 () 人 2. 市内他区 () 人
3. 市外 () 人 4. 分からない () 人

Q19 学習者の学習年数別の人数について教えてください。

1. ～6か月 () 人 2. 6か月～1年 () 人
3. 1年～2年 () 人 4. 2年～3年 () 人
5. 3年～4年 () 人 6. 4年以上～ () 人
7. 分からない () 人

Q20 学習者の国籍・地域別の人数について教えてください。

1. 中国 () 人 2. 韓国 () 人
3. フィリピン () 人 4. ベトナム () 人
5. ネパール () 人 6. インド () 人
7. アメリカ () 人 8. 台湾 () 人
9. ブラジル () 人 10. インドネシア () 人
11. 日本 () 人 12. その他 () 人
13. 把握していない () 人

Q21 学習者の在留資格別について、多いものから順に1~5の数字をご記入ください。

在留資格	順位
1. 永住者	
2. 技術・人文知識・国際業務	
3. 特別永住者	
4. 家族滞在	
5. 留学	
6. 日本人の配偶者等	
7. 定住者	
8. 技能実習	
9. 特定活動	
10. 永住者の配偶者等	
11. 特定技能	
12. その他 ()	

Q22 学習者のレベル別の総人数について教えてください。

1. 入門者レベル () 人 2. 初級～中級者レベル () 人
 3. 上級者レベル () 人

入門者 …ほぼ日本語ゼロ
 初級～中級 …基本的な日本語をある程度理解することができる～日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる (N5～N3相当)
 上級 …日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる～ (N2以上相当)

Q23 1回当たりの学習者とボランティアのレベル別の平均参加人数について教えてください。

レベル	学習者数	ボランティア数
設置なし	() 人	() 人
入門者レベル	() 人	() 人
初級～中級者レベル	() 人	() 人
上級者レベル	() 人	() 人

Q24 2022（令和4）年度の学習者の参加・出席状況について教えてください。

	新たに学習を始めた人	計（人）
新たに学習を始めた人 （内訳）	ほぼ毎回来ている人	（人）
	2～3回に1回しか来ない人	（人）
	1か月に1回以下しか来ない人	（人）
	途中で通学をやめてしまった人	（人）

Q25 学習者の募集方法について教えてください。（〇はいくつでも）

1. ホームページ	2. ブログやSNS
3. 教室のチラシ・パンフレット	4. インターネットの掲示板等
※配架場所（ ）	
5. 学習者の紹介や口コミ	6. その他（ ）

Q26 学習者の状況について、直近3年間の所感を教えてください。

①学習者の増減について

②特定の国・地域の学習者の増減について

③学習者のニーズの変化について

④その他

Q27 学習者のニーズについて、直近3年間に実際にあった要望などを教えてください。

(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------------------|----------------------|
| 1. 高いレベルの学習内容にして欲しい | 2. 易しいレベルの学習内容にして欲しい |
| 3. 学習内容を変えて欲しい () ※05教室の学習内容の選択肢番号を記入 | |
| 4. 学習形態を変えて欲しい () ※07教室の学習形態の選択肢番号を記入 | |
| 5. 教室の開催回数を増やして欲しい | 6. 教室の1回の時間を長くして欲しい |
| 7. 教室の開催時間を変えて欲しい | 8. 自宅の近くで学習したい |
| 9. 保育サービスを導入して欲しい | 10. オンライン学習を行って欲しい |
| 11. ICT教材を活用して欲しい | |
| 12. その他 () | |

【選択肢】05教室の学習内容選択肢 (再掲)

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| 1. 日常会話 | 2. 読み・書き (かな・漢字) |
| 3. 読み・書き (文章・作文) | 4. 文法 |
| 5. 日本語能力試験対策 (N1・N2・N3・N4・N5) | 6. 生活に必要な日本語 |
| 7. 仕事や就職に必要な日本語 | 8. 日本の文化、習慣、社会のルール |
| 9. ゲーム (かるた等) などを使った学習 | |
| 10. その他 () | |

【選択肢】07教室の学習形態選択肢 (再掲)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. マンツーマン (対面) | 2. マンツーマン (オンライン) |
| 3. 少人数のグループレッスン (対面) | 4. 少人数のグループレッスン (オンライン) |
| 5. 講義形式 (対面) | 6. 講義形式 (オンライン) |
| 7. その他 () | |

Q28 学習者の目的や目標について、レベル別に教えてください。レベルを設置していない場合は
 <レベル設置なしの場合>を回答ください。

※目的や目標は下の【選択肢】から番号を3つまで記入

<レベル設置なしの場合>

レベル	目的や目標		
設置なし	()	()	()

<レベル設置ありの場合>

レベル	目的や目標		
入門者レベル	()	()	()
初級～中級者レベル	()	()	()
上級者レベル	()	()	()

【選択肢】

1. 日常会話の習得	2. 日本人との交流
3. 日本人以外との交流	4. 子育て・子どもの教育のため
5. 日本語能力試験合格	6. その他の資格取得
7. 就学、入学試験対策	8. 就職対策
9. 職場でのコミュニケーション	10. 仕事（業務）で使う日本語
11. 仕事のキャリアアップ	12. 生活情報の入手
13. 日本の制度、社会ルールの理解	14. 居場所づくり
15. その他① ()	
16. その他② ()	
17. その他③ ()	

3. ボランティアについてお伺いします

Q29 ボランティアの性別ごとの人数について教えてください。

男性 () 人 女性 () 人 その他 () 人

Q30 ボランティアの年齢別の人数について教えてください。

年齢	人数	年齢	人数
～9才	() 人	10才～19才	() 人
20才～29才	() 人	30才～39才	() 人
40才～49才	() 人	50才～59才	() 人
60才～69才	() 人	70才～79才	() 人
80才～	() 人	分からない	() 人

Q31 ボランティアの居住地別の人数について教えてください。

1. 教室の場所と同じ区 () 人 2. 市内他区 () 人
3. 市外 () 人 4. 分からない () 人

Q32 ボランティアの活動年数別の人数について教えてください。

1. ～1年 () 人 2. 1年～5年 () 人
3. 5年～10年 () 人 4. 10年～15年 () 人
5. 15年～20年 () 人 6. 20年以上～ () 人
7. 分からない () 人

Q33 ボランティアの登録に当たって日本語教師等の資格を条件としていますか。(○は1つだけ)

1. している 2. していない

Q34 次のうち、ボランティアのスキルアップに向けて必要だと思うことはありますか。
(〇はいくつでも)

1. ボランティア研修用の教材・マニュアルの作成
2. 新規ボランティアを対象とした研修の充実
3. ボランティアのブラッシュアップ研修等の実施
4. 他の教室との交流・情報交換
5. 日本語学校や大学等からの支援・協力
6. 行政との日常的な情報交換など
7. 日本語教師等の資格取得の支援
8. その他 ()

4. その他

Q35 次のうち、日本語学習以外に行っている活動はありますか。(〇はいくつでも)
※コロナ禍以前に行っていた活動も含めてお答えください。

1. 地域住民との交流（イベント等の開催・参加）
2. 教室内の学習者同士の交流会
3. 他の教室の学習者との交流会
4. 日本文化を紹介する活動（節分や七夕などの季節のイベント等）
5. 学習者の国・地域の文化を紹介する活動（衣装・料理・風習・言葉など）
6. 生活情報の提供、生活相談
7. 学校や役所からの通知などの説明
8. 役所や病院などへの同行支援
9. ボランティアの研修 ※研修の実施主体は問わない
10. 教室の運営委員会など ※教室終了後の当日の活動報告や振り返りは含まない
11. その他（)

Q36 Q35 の活動について、コロナ禍による影響はありましたか。Q35 で○を付けた項目に対して、あてはまる選択肢に○を付けてください。(○はそれぞれ1つだけ)

項目/選択肢	1. 大いにあった	2. あった	3. 少しあった	4. なかった
1. 地域住民との交流(イベント等の開催・参加)	1	2	3	4
2. 教室内の学習者同士の交流会	1	2	3	4
3. 他の教室の学習者との交流会	1	2	3	4
4. 日本文化を紹介する活動(節分や七夕などの季節のイベント等)	1	2	3	4
5. 学習者の国・地域の文化を紹介する活動(衣装・料理・風習・言葉など)	1	2	3	4
6. 生活情報の提供、生活相談	1	2	3	4
7. 学校や役所からの通知などの説明	1	2	3	4
8. 役所や病院などへの同行支援	1	2	3	4
9. ボランティアの研修 ※研修の実施主体は問わない	1	2	3	4
10. 教室の運営委員会など ※教室終了後の当日の活動報告や振り返りは含まない	1	2	3	4
11. その他 ()	1	2	3	4

Q37 次のうち、行政に期待することはありますか。(○はいくつでも)

1. 教室の新規開設	2. 各教室への支援の充実
3. 研修の充実	4. 広報の充実
5. 教材の提供	6. 学習プログラムの提案
7. 他の教室の活動内容の紹介や情報提供	8. 外部機関との連携に関するコーディネート
9. 学習支援者や学習者の確保	10. 学習支援者の相談体制の充実
11. ICTの活用に関するアドバイス	12. その他 ()

Q38 「日本語教育の参照枠」に基づいた『生活 Can do』の活用状況について教えてください。
(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 活用している | 2. 聞いたことはあるが活用はしていない |
| 3. 知らない | |

「日本語教育の参照枠」

言語・文化の相互理解・相互尊重を前提として、学習段階に応じた教育内容などを示し、個々の日本語学習者に応じた日本語教育を 継続的に受けられるようにするための、日本語教育に関わる全ての人が参照できる、日本語学習、教授、評価のための枠組みです。

『生活 Can do』

国内に在住する外国人（「生活者としての外国人」）が日常生活において、日本語で行うことが想定される言語活動を例示したもの。

Q39 最後に、日本語教育に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご回答を作成いただいたご担当者名をご記入ください。

調査に関して、追加で質問などをお聞きする場合のみ使用いたします。

【所属】 ()
【所在地】 ()
【電話番号】 (- -)
【メールアドレス】 ()

【役職】 ()
【氏名】 ()

ご協力ありがとうございました。